

FOCUS Vol.20

長洲町でキラリ輝く人たち

「目指すは『全国制覇』」

春の選抜高校野球で鎮西高校の躍進の鍵を握る
攻守の要

しま さき **島崎** まさ と **真門**くん (17歳 新町)



甲子園に出場する鎮西高校ナイン。島崎くんは副キャプテンとしてチームをけん引する。

「甲子園では長洲魂で町民の皆さんに元気を与えられる
ようなプレーをしたいです」



3月21日から甲子園で開幕する第86回全国選抜高校野球大会。「春のセンバツ」とも呼ばれるこの大会に熊本からは鎮西高校が24年ぶりに出場し、同大会での活躍が期待されている。その中心選手にいたのが島崎真門くん(新町)だ。

島崎くんのポジションはキャッチャー。打順でもチームの柱である4番を任されており、まさに攻守の要。責任感も人一倍強い。「自分がしっかりとやらないとチームがだめになる、そのくらいの強い気持ちでいつもプレーしています。だから勝ったときは誰よりもうれししいし、負けたときは誰よりも悔しいんです」。

島崎くんが野球を始めたのは小学3年生のとき。すぐに夢中になり、テレビで高校野球に釘付けになった。いつかは甲子園の舞台に、夢を膨らませた。中学校では大牟田市の硬式野球チームに所属し、高校は古豪・鎮西高校に進学。甲子園を目指し野球に取り組ん

できたが、時には12時間練習する日もあるほどハードな練習に、辞めようと思ったこともあったという。「練習がきつくて、入学してすぐに10kgやせました。それでも甲子園に行きたい、行くんだという気持ちでとにかく耐え抜きました」と胸を張る。

努力は裏切らなかった。昨年10月の秋季大会で九州ベスト4に入り、春のセンバツの切符を手にした。「町民の皆さんに恥ずかしいプレーはできない。さらに気を引き締めました」。

今は年末年始もないほど、野球漬けの日々を送っている。目標は一つ、もちろん「全国制覇」だ。「鎮西のチーム力はどこにも負けないと思っています。その力を全国に示していきたい」。3月14日には抽選会が行われ対戦校が決定する。全国制覇という目標を原動力に、鎮西高校ナインが、そして島崎くんが全国でどんな活躍を見せるのか、彼らの雄姿をぜひ応援したい。